

南つるぎ地域活性化協議会とシカネット設置後の植生回復調査を実施しました

平成30年6月17日
徳島森林管理署

平成28年5月に南つるぎ地域活性化協議会と徳島署が協力してシカネットを設置した槍戸国有林135林班において、6月17日徳島県植物研究会の協力の下、徳島署、南つるぎ地域活性化協議会が協力してシカネット内の植生調査を行いました。



全員で現地に向かいます

植生調査には、徳島署職員、南つるぎ地域活性化協議会、徳島県南部総合県民局など総勢26名が参加しました。

現地では、設置から2年を経過したシカネット内に入り、徳島県植物研究会の指導の下、回復した植生を確認していきました。



2年でネット内の約80%が回復



真剣に徳島県植物研究会の説明を聞く参加者



今回確認されたリョウブ



今回確認されたアカメシバ

今回の植生調査で確認できた植物は、リョウブ、アカメシバ、クマイチゴ、ベニバナニシキウツギ、シモツケ、テキリスゲ、コミネカエデ、ミヤマクマザザ、ヘビノネゴザ、ヤワラシダ、イシツチテンナンショウ、ドウダンツツジなどでしたが、詳細については、改めて公表します。

最後に、参加者全員で新たにシカネット(30m×30m)を設置し、下山しました。

